

TAP

住民参加型タップダンス公演 第7弾

Be the light

■演出・構成:中山貴史



安達 雄基
(TAP)



千葉 優里子
(TAP)



坂東 邦明
(ドラム・パーカッション)



佐藤 菜緒
(ピアノ)

令和6年

3月10日 [日]

開場 13:30
開演 14:00

会津若松市文化センター

自由席 (税込)

一般 2,000円/高校生以下 500円

★ 12月9日(土)より前売開始 ★

前売券販売所

會津風雅堂 (窓口、電話申込、ホームページ)、アピオスペース、栄町オサダ

※電話申込の場合、宅急便の代金引換でご指定の場所にお届けします。(手数料が別途かかります。福島県内500円) ■電話申込受付 9:00~17:00

お問い合わせ・電話でのお申し込み: 會津風雅堂 TEL 0242-27-0900 (月曜休館)

主催: 公益財団法人会津若松文化振興財団 共催: 会津若松市教育委員会 後援: 福島民報社、福島民友新聞社



會津風雅堂HP



芸術文化振興基金

一人ひとりが輝く公演を目指して

住民参加型タップダンス公演とは、参加者を公募し、プロのタップダンサーの指導のもと稽古を重ねた成果を発表する公演です。平成28年から活動をスタートさせ、今回で7回目の開催となります。今回は会津地域を中心に県内各地から10人が集まり、5月から稽古を重ねています。年齢も経験も様々ですがチーム一丸となって取り組んでいます。参加者の個性が光る振付、心を合わせて奏でるリズムにご期待ください。

ゲストは人気・実力ともに国内トップレベルのタップダンサーに出演いただきます。超絶技巧のパフォーマンス・ミュージシャンとのセッションをお見逃しなく！

Be the light

安達雄基 (タップ)

7歳からTAPDANCEをはじめ、その後様々なジャンルのDANCEを学び、19歳で単身NEW YORKへ渡米。留学中、NYや台湾のTAP FESTIVALに講師/performerとして参加する。帰国後はKAZ TAPCOMPANYのメンバーとして活動を始め、全国各地で舞台出演やワークショップなどをおこなう。個人としてはTAP BATTLE JAPAN OPENを3連続優勝し日本一の座に輝くなど様々なコンテストやバトルで優秀な成績をおさめる。近年ではGENERATIONS、Da-iCE、s**t kingz等様々なアーティストの振付や演出をするなど、プレイヤーとしてだけでなく様々な形でタップダンスの魅力を伝える活動をしている。



千葉優里子 (タップ)

4歳からジャズダンスを始める。その後数年間ジュニアレビューの舞台を経て、芝居歌バレエを学び、10歳の時シアタースタイルのタップダンスに出会う。2014年からkaztapstudioにてリズムタップを学び始め、2019年より同スタジオの講師となる。2022年より女性タップダンサーチーム"ON the WOOD"のメンバーとしても活動中。2015年 uniqlo 短パン cm 出演。2016年 jammin floor@clubEX 出演。2017年 journey in the rhythm by Kaznori Kumagai 出演。2018年 solo live 「TRIAL」 by kaztapstudio。2018年 tap into the right by Kaznori Kumagai 出演。2019年 東京 international tap festival 出演。2021年~2022年 舞台「羽世保スウィングボーイズ」振付助手/出演。2023年 3月~ On the Wood 自主公演「つむぐ vol.1~3」。2023年 川崎タップフェスティバル。



坂東邦明 (ドラム・パーカッション)

イメージからGrooveへ変える、日本のDrummer&Percussionist。Live、Recording、PV、数々の舞台公演、Band、Support、Sessionに参加。Drum&PercussionのLessonも行っている。自作曲の制作やSolo single、Album「Snow mountain」「Life」「2021」Release。Solo live「Heart Groove communication」を行う。2009~2010、南米ブラジルへ渡り、太鼓紀行を重ね、カーニバルへ出場。Drum-off 2021 日本代表。Hong Kong international drummer festivalに参加し優秀賞を受賞。



佐藤菜緒 (ピアノ)

宮崎県出身。
幼少期よりクラシックピアノ、エレクトーンを学ぶ。
上京後キーボードや作曲を始め自身のバンドやアーティストのサポートメンバーとして活動。
現在は音楽制作などゆるく活動中。



TAP blanc Aizu (タップ)

住民参加型タップダンス公演 第1弾「LIFE GOES ON」公演開催にあたり公募によって集まった一般参加者によって命名されたグループ名。“blanc (ブラン)”はフランス語で“しろ (白)”を表す言葉。会津のイメージ (鶴ヶ城のしろ、白虎隊のしろ、雪国のしろ)と“白”が持つイメージ (始まり、広がり、可能性) から、会津TAPの活動が未永く続き、会津にTAP文化が根付く事を祈って命名。以降、会津で行われている住民参加型タップダンス公演の際に、公募によって集まった参加者のグループ名として使用。



中山貴史 (指導 / fukushima tap project 代表)